



長崎フォトフェスティバル 2020より 写真提供:竹野 大志 (@take.nagasaki)

# 長い長い年月をかけて、 波がかじっていった、 りんごです。

長崎県の海岸線の総延長は約4,166 km。  
これはなんと、日本の海岸線の約12%にあたるのか。  
複雑な入り江が多い地形。それだけに、個性あふれる海岸模様を見ることができます。  
ここも一例、長崎市かきどまり白浜の「傘岩」。  
いやそれよりも、かじったりんごのカタチをイメージした、  
「りんご岩」という通称のほうが知られているかもしれません。  
おおそ500万年前の火山噴火で生まれた岩が、波で浸食されて、いまではこの姿になりました。  
この海岸は、絶好のサンセットのスポット。  
夕日のシルエットには、ほんと「りんご」だ!という声があがります。

## 「りんご岩」のサンセット

長崎で、会いましょう。